

## 新規就農者の目標売上げ確保(抑制キュウリ)

対象者 甲賀市水口町 N氏

### 【普及活動のねらい】

N氏は、平成31年3月に農業大学校就農科を修了し、父の水稲経営とは別に施設果菜部門で経営開始されました。1,350㎡の温室と少量土壌培地耕システムを導入し、令和元年度に抑制キュウリの栽培から経営を開始されました。

就農一年目の目標売上げを確保できるよう施設建設やシステム稼働までの準備段階から支援し、稼働後は栽培技術の支援をしました。併せて、水口町施設園芸部会に所属することで部会員からの支援を受けられるように誘導しました。

### 【普及活動の内容】

#### 施設および少量土壌培地耕システムの稼働支援

鉄骨温室と内部の少量土壌培地耕システムは、抑制キュウリの作型に合わせて、8月下旬から稼働できるよう支援しました。

月1回程度、本人と関係機関による打ち合わせで進捗を確認し、遅れている部分については課題を検討して改善しました。

#### 他部会員施設における技術習得支援

キュウリの栽培経験がなかったことから、他の部会員の施設で定植等を手伝いながら技術を習得するよう誘導し、普及指導員も同行して技術指導を行いました。

#### 抑制キュウリの栽培管理指導

9月25日の定植後は、整枝、培養液管理、温度管理、病虫害防除の指導を行いました。



病害防除について指導する普及指導員

特に、病虫害防除については、病虫害の見分け方から農薬選定、散布のタイミング、効果の検証、次回の防除計画を立てられるよう重点的に指導しました。

### 【普及活動の成果】

施設設置から本格的なキュウリ栽培に至るまで不慣れな作業が続き、戸惑う場面も見受けられましたが、粘り強く指導した結果、11月上旬には出荷を開始できました。最近では、収穫出荷作業にも慣れ、次作への意欲も示されています。

今後も青年等就農計画の目標達成に向け、指導を継続していきます。



キュウリを定植するN氏